

「国語・算数」（ことばかず）学習指導案

1. 日時 令和2年10月15日（木） 第2時限（10：30～11：10）

2. 場所 教室

3. 学部・学年・組 小学部 第1学年 さくらんぼグループ

4. 単元名 「でんしゃにのって」

5. 単元目標

- ・絵本に興味を持ち「ガタゴトガタゴト」の言葉のリズムを楽しみながら見聞きする。【知・技】
- ・「ギュウギュウ」で感じたことを表現することができる。【思・判・表】
- ・でんしゃごっこ（劇遊び）の活動に意欲、期待感を持って取り組むことができる。【学・人】

6. 児童観

（略）

7. 教材観

絵本『でんしゃにのって』は、主人公の女の子うらちちゃんが、電車に乗っておばあちゃんのところへお出かけするお話である。「ガタゴトーガタゴトー」「つぎは〇〇だー〇〇だー」「はい、おじゃましますよ」と繰り返しの言葉でリズムカルに展開することから、児童にとって理解しやすく、親しみやすい絵本であると考えた。

お話の中には、これまで児童が学校生活の中で好んで取り組んできた、乗り物ごっこ遊びで登場した電車や、クマやゾウ、ウサギといった、日常的に絵本や持ち物のシンボルとして目にしたり、聞いたりする機会の多い動物が乗客として登場する。今回は、動物の人形やカードを使うことで子どもにとって身近な生き物に興味を持たせたい。

また、乗客の動物がどんどん増えていき、座席が「ギュウギュウ」になっていくという展開を、劇遊びにすることで、「ギュウギュウ」になって触れ合うこと(*)から、乗客の間で身体に直接感じる圧迫感と、駅に到着した時のふわっとした解放感との違いに面白さや楽しさを感じ、意欲や期待感に繋がりたいと考える。

(*)今回は感染防止の観点から、介助する教師を除き、児童の密着や接触を避けるため、動物に見立てた人形をバランスボールなどで作成し、児童同士の間隔を保つことができるように使用する。

8. 指導観

授業においては小学部1年生ということで、児童の好きなことに関連させながら、新しいことを積極的に取り入れ、児童の興味関心の幅を広げていきたいと考える。

導入部分では、絵本の内容に興味を持たせるため、電子絵本の作成を行った。登場人物を動かしたり、効果音をつけたりすることで、児童にとって絵本の世界やその展開をより想像しやすくなり、興味関心を持てると考える。また、見ることや聞くことに困難さがある児童も在籍していることから、登場する動物の特徴がイメージしやすい形や感触をつけた人形を使用する。これらについては、児童によって視線の高さや、手腕の動きに差があることから、調整しやすいように形や大きさを工夫した。

また、この絵本の遊び歌の一節を繰り返し使用し、「ガタゴトーガタゴトー」という言葉で、揺れる楽しさをイメージさせるリズムカルな感じを味わわせたい。聞くことに困難さがある児童には、教師が遊び歌に合わせたタッピングで、そのリズムを伝える。

劇遊びでは、感覚遊びが好きな児童とごっこ遊びへの関心が芽生えつつある児童が、どちらも「ギュウギュウ」になっていく展開の楽しさや、ゆるんだ時との感覚の違いに気付くことができるようにする。児童は電車の車両に見立てた台車に乗り、次々と友だちや動物（人形）が乗り込んできた時に、教師が抱きしめたり、人形やクッションで圧をかけたりして、「ギュウギュウ」の感覚を味わわせたい。電車が動いている間は、遊び歌に合わせて揺れと圧を感じさせ、音楽の終わりに「プシュー」という音をつけ、駅への到着をきっかけに教師や人形からの圧をゆるめ、ふわっとした感覚を味わわせる。児童によっては、大きな人形が動くようすを見ると強く緊張してしまったり、心地よさを感じる刺激の大きさが違ったりするため、関わる教師が抱きしめる際の力加減を個に合わせて調整する。

劇遊びの中では、「もう1回」「もっと」という言葉を繰り返し使用する。これらの言葉と楽しい経験が結び付き、自らも伝えられる方法を身につけることで、様々な生活場面でも発揮できるようになってほしい。

9. 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①『でんしゃにのって』に出てくる「ガタゴトーガタゴトー」のフレーズに親しんでいる。 ②動物（カード）に手や指でふれようとしたり、目で追ったりする。	①電車に乗って「ギュウギュウ」を体験し、「やりたい」という気持ちを自分なりの方法で表現しようとしている。	①読み聞かせに親しみ、言葉によるやり取りを聞いたり、自分の思いを伝えようとしたりしている。 ②「もう一回したい」「自分もしたい」という意欲や期待感を自分から伝えようとしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全 15 時間、本時は第 8 時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1 2 3	・『でんしゃにのって』の内容を知る。	・絵本の読み聞かせを聞く。 ・「ガタゴトガタゴト」のリズムを感じる。	・電子絵本に注目しやすい座席配置にする。 ・リズムを感じやすいように遊び歌の一節を使用する。 ・聞くことに困難さがある児童がリズムを感じられるよう	A① A② C① 行動観察

		・登場する動物を知る。	・動物（カード）に触る。	に、タッピングで伝える。 ・触れた違いが分かるように人形に特徴的な形や感触のものを付ける。	
2	4 5 6 7 ⑧ 9 10 11 12 13 14 15	・でんしゃごっこをする。（劇遊び）	・劇遊びをする。 ・「ギュウギュウ」を感じる。 ・「もう1回したい?」「もっとしたい?」の問いかけに答える。	・毎時、1人1回乗車できるようにする。 ・大きな人形が動くことが苦手な児童が安心して授業に参加できるように、先に乗車させる。 ・「もう1回したい」という意欲を声や表情、しぐさで答えられるように、手に触れたり言葉をかけたりして促す。	A① B① C② 行動観察

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・「ガタゴトーガタゴトー」のフレーズやリズムを楽しんで聞いたり感じたりすることができる。
- ・「ギュウギュウ」を体験し、もう1回味わいたい気持ちを表現することができる。
- ・劇遊びに意欲や期待感を持って参加することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・「ガタゴトーガタゴトー」のリズムに合わせて声を出したり、体を動かしたりしている。【A①】
- ・「もう1回（もっと）ギュウギュウする?」の問いかけに、表情や声で表現している。【B①】
- ・「自分もしたい」「もっとしたい」という気持ちを、自ら声に出したり手足を動かしたりして表現しながら、参加しようとしている。【C②】

(3) 本時で扱う教材・教具

ホワイトボード、動物絵カード、スピーカー、台車、動物（人形）

(4) 児童の実態と本時の目標

（略）

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導 入	1. 始まりのあいさつ ・はじめのあいさつをする。 ・グループの歌を歌う。 ♪「さくらんぼ体操」	・「シャキーン」と掛け声をし、姿勢を整えることを促す。 ・授業の開始を意識できるよう、始まりのあいさつをする。	
30分 展 開	2. 絵本『でんしゃにのって』の読み聞かせを聞く。 3. 劇遊び（電車ごっこ）をする。 ①電車に乗る児童を教師が決める。 ②介助する教師と一緒に電車に乗る。 ③「ギュウギュウ」を体感する。 ④♪「でんしゃにのって」に合わせて、電車の揺れを楽しむ。（1フレーズ） ・待っている人は、前の人を見ながら、「ガタゴトガタゴト」のリズムを一緒に楽しむ。 ⑤「プシュー」の音に合わせて、解放する。 ⑥もう1回（もっと）ギュウギュウしたいか希望を伝える。（③へ戻り、繰り返す。） ⑦2回したら次のグループに交替し、①から始める。	・全員が注目しやすい座席配置にする。 ・登場する動物の特徴を模したカードを提示する。 ・個々に本時の目標を伝える言葉かけをする。 ・身体に感じる圧の強さが分かるように児童に応じて、抱え方に変化をつける。 ・「ガタゴトガタゴト」のリズムが感じられるように、タッピングで伝える。 ・問われていることが分かりやすいように「もう1回（もっと）ギュウギュウする？」と言葉とサインを添える。	A① 行動観察 B① C② 行動観察
5分 ま と め	4. 本時の振り返り 5. 終わりのあいさつ	・個別の目標に基づき、良かったところや頑張ったところを伝える。 ・姿勢を整えることがわかりやすいように「シャキーン」の言葉で促す。 ・授業の終了を意識できるよう、おわりのあいさつをする。	

(6) 教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）
(略)